

第2学年 道徳科学習指導案

指導者 新谷 千明

- 1 主題名 世界の国の人たちと 内容項目 C 国際理解, 国際親善
- 2 教材名 ひろいせかいのたくさんの人たちと (出典 新しいどうとく2 東京書籍)
- 3 ねらい ほかの国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

他国の人々や多様な文化を理解するとともに、日本人としての自覚や国際理解と親善の心をもつことに関する内容項目である。グローバル化が進む中で、国際理解や国際親善は重要な課題となっており、これらの課題に対応するためには他国の人々や文化に対する理解とこれらを尊重する態度を養うようにすることが求められる。それぞれの国には独自の伝統と文化があり、自分たちの伝統と文化に対して誇りを持ち、大切にしている。そのことを我が国の伝統と文化に対する尊敬の念と併せて理解できるようにする必要がある。また、現在私たちが抱えている問題がどれも一地域や一国内にとどまる問題ではないことを踏まえ、広く世界の諸情勢に目を向け、日本人としての自覚をもつことが重要である。

低学年の発達段階においては、他国の人々に親しみをもちたり、自分たちと異なる文化のよさに気付いたりできるようにすることが大切である。そして、他国の人々と交流したり、文化を味わったりしたことを互いに出し合ったり深めたりしながら、更に他国を知り、親しもうとする気持ちが高まるように工夫することが大切である。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、範読を聞いたり自分の考えをワークシートに書いたりするような静かな時間と、自分の考えを友達と交流する「話す、聞く」の時間にメリハリをもちながら道徳科の授業に参加できる児童が多い。中心発問は相互指名しながら全員が発表しようと意欲をもっている。一方で、「何書けばいいかわからない」と言う児童もいる。

本学級の児童に対して、この授業の内容項目に関するアンケートを実施した。結果は次の通りである。

① チャンスがあれば、外国に行ってみたいですか。	はい	70%(7人)
	いいえ	30%(3人)
② (①で「はい」と答えた人)どんな国に行ってみたいですか。	アメリカ, 韓国, ドイツ, カナダ, シンガポール, イギリス	
③ 外国の人と仲良くなりたいですか。	はい	70%(7人)
	いいえ	30%(3人)
④ 外国のことで知りたいことはありますか (いくつでも選択可)。	遊び, 言葉・あいさつ…7人 歌・おどり …3人	学校, スポーツ…6人 食事, 服装 …2人

アンケートの結果から、外国に行ってみたいと思っている児童が多いことが分かった。「どのくらい外国に行ってみたいか」行きたい気持ち指数を10段階で表してもらくと、「行きたい」と答えた児童は3から10の立場を示していた。一方で外国に行ってみたいかについて「いいえ」と答えた3人は、気持ち指数も0と答えていた。授業の後半では再度どのくらい外国に行ってみたいか聞き、気持ちの変容が見られた子、見られない子、どちらにも理由を問いたい。また、行ってみたい国に「アメリカ」と答えていた児童が3人いること、教材にはベトナムの郷土料理「フォー」が出ていることで、ゲストティーチャーでアメリカ出身のマル先生とベトナムの日本人学校に3年間勤めていた校長先生から話を聞くこ

とも児童の興味関心をさらに高めることにつながると思われる。

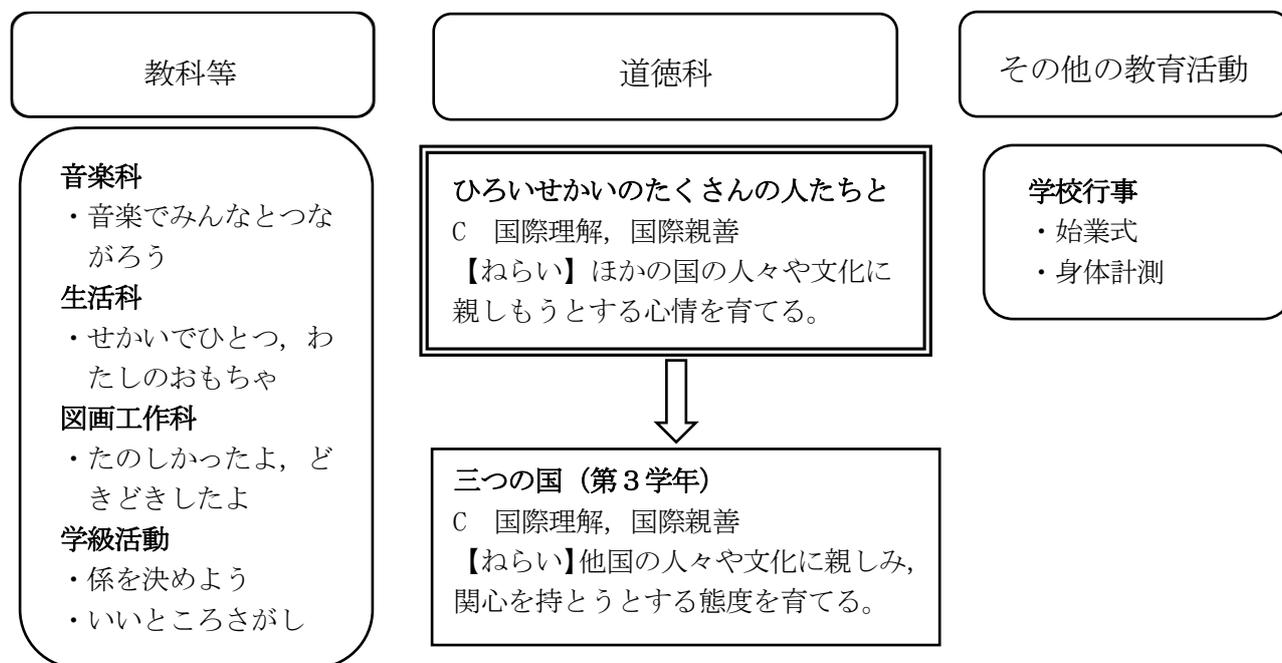
(3) 教材について

本教材は、他国の伝統、文化への理解を深め、親しみをもてるようにする教材である。たけしが世界の遊びについて調べてみると日本と同じ遊びが他国にもあることがわかり、食事についても調べてみると今度は知らなかった料理や国による食べ方の違いがわかり、さらに興味がわいて世界の人たちと触れ合いたくなるという内容の話である。他国の伝統や文化を知ることが他国への親しみや他国の人々との触れ合いへの意欲につながることを身近な経験と結び付けて考えられる教材である。児童は教材を事前に読んでおき、本時ではクイズ形式で写真を使って簡単に内容を整理する。

また、外国につながりのある2人のゲストティーチャーを活用し、物を見たり触ったりしながら進んで質問し、アメリカやベトナムの文化に触れることで、他国を知り、親しもうとする気持ちを高めることができると考えられる。

5 研究との関わり

(1) 他の教育活動との関連



(2) 研究主題に迫るための手立て

自己を見つめ、考えを深めるために、中心発問とふりかえりではワークシートに書く時間を十分確保する。書き始める前には何を書けばいいのかが明確になるように発問したり、書くポイントを焦点化したりすることで見通しを持たせる。また、話し合いの中で道徳的価値に迫るための問い返しを行ったり、「～ってどういうこと？少しペアで話してみましよう」といったペア活動を入れたりすることで、児童がはじめにもっていた考えを深められるようにしたい。

① 発問の工夫

中心発問の前には2人のゲストティーチャーに用意してもらったアメリカとベトナムのコーナーにショートトリップに行き、外国に行く疑似体験をする。他国の文化を味わったことを互いに出し合い深めるために中心発問ではアメリカやベトナムに行きどんなことを感じたかを問い、さらに他国を知り親しもうとする気持ちが高まるようにしたい。また深める発問では授業前に一度答えてもらった「み

なさんはほかの国にどのくらい行ってみたいですか」をもう一度問い、気持ちをジャムボードの10段階で表し授業前との比較をする。「行きたくない」立場の人が考える理由、心配や不安なことも聞き共感できると考える。「行ってみたい」立場の人からも理由として他の国について知りたいことや話してみたいことなどを聞き、「そんな関わり方ならしてみたい!」「行くのは怖いけど、外国の人とは仲良くしてみたい」といったこれから関わる世界の国々の人との出会いに対し、わくわくした気持ちを引き出したい。

② 構造的な板書

前半では写真を中心に教材を整理する。後半はアメリカとベトナムについて感じたことを出し合い、1時間を通して「なんだか世界について知ることができたな」「話し合うことで、ほかの国に興味をもてたな」と他国を知り、親しもうとする気持ちが高まったことを自覚できるような板書にしたい。

6 教材構成と発問の構成

教材分析	展開の構想	基本発問(○)中心発問(◎) 深める発問(☆)
導入	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をまとめたスライドを見ながら道徳的価値についての方向付けを図る。 	<p>○クラスのみんなや先生方の他の国や人への考え方を知みましょう。 他者理解 価値理解</p>
<p>教材の流れ</p> <p>世界の人の遊びや食事について調べたところ、日本と同じところや違うところに気付き、他にも服装やあいさつなどについてももっと調べてみたくなった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> クイズを通して内容の整理を行い、「たこあげ」「こま回し」「じゃんけん」の遊びを日本以外の国の子どもたちが遊んでいることや「フォー」や「エスカルゴ」といった知らない料理や馴染みのない食べ方を知り、日本の当たり前が世界では当たり前ではないことに気付かせる。 	<p>○世界の遊びや食べ物について、クイズに答えましょう。 価値理解 他者理解</p> <p>○アメリカ、ベトナムにショートトリップに行き、自分の興味のあるコーナーを見たり、ゲストティーチャーのマル先生、校長先生にたくさん質問したりしましょう。 価値理解 他者理解</p> <p>◎アメリカやベトナムに行って、どんなことを感じましたか。 価値理解 他者理解</p>
自覚化	<ul style="list-style-type: none"> 行ってみたい気持ちを数値化し初めと比べ、その理由を引き出すことで、他の国の人々や文化に親しむことのよさを感じさせる。 	<p>☆みなさんは今、ほかの国にどのくらい行ってみたいですか。 価値理解 他者理解 人間理解</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を振り返る。 アンケート結果をまとめたスライドの続きを見る。 	<p>○今日の授業で思ったことや楽しかったことは何ですか。 価値理解</p>

7 本時の指導

(1) 準備

教科書の挿絵・短冊・ワークシート・PC・大型モニター

(2) 本時の展開

◇ICTの活用

	教師の働きかけ(○)と児童の反応(・) 中心発問(◎) 深める発問(☆)	留意点(・)
導入 5分	<p>1 スライドをもとに道徳的価値についての方向付けを図る。</p> <p>○「196」ってなんの数でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の国の数なんだね。 ・夏休みに水泳、陸上、バスケなどの世界大会をテレビで見たよ。 ・家で外国のものを探してクロムブックで写真を撮ってきたよ。この前興味のある国について少し調べてみたよ。 <p>○みんなに答えてもらったアンケートの結果と、先生方の行ったことある国についてのアンケート結果を見ましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全く行きたくないと思った理由は怖そうだからだよ。 ・先生方は行きたい国があると答えた人が100%だったんだね。 ・意外と外国に行っている先生もいるんだね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">広いせかいのたくさんの人たちのことを、知ろう</div>	<p>◇スライドは児童の端末からも見られるようにする。</p> <p>◇クロムブックを家に持ち帰り、家にある外国の物の写真を撮ってきておき、日本には外国のものがたくさんあることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたくないと答えた児童に先に理由を問う。 <p>◇先生方のアンケート結果をランキング形式で提示し、意欲付けを図る。</p>
展開 35分	<p>2 教材『ひろいせかいのたくさんの人たちと』を思い出す。</p> <p>○世界の遊びや食べ物について、クイズに答えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本以外の国にも「たこあげ」「こままわし」「じゃんけん」の遊びがあるんだね。同じ遊びでもたこやこまの形は少し違うね。 ・じゃんけんもグーチョキパーじゃないんだね。 ・「フォー」は初めて聞いたよ。日本で食べる麺類はうどん、そば、そうめん、ラーメン、スパゲッティなどがあるよね。 ・「エスカルゴ」ってかたつむりを食べるんだね、びっくりだ。 <p>○アメリカ、ベトナムにショートトリップに行き、ゲストティーチャーのマル先生、校長先生にたくさん質問しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムコーナーには触れないで手をたたいて風を送って演奏できる楽器「テルミン」や、木琴に似た「トルン」があるよ。 ・アメリカコーナーには色々な写真があるね。英語版のポケモンカードもあるよ、デザインも少し違うね。 <p>◎アメリカやベトナムに行ってみて、どんなことを感じましたか。ワークシートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長先生は昔ベトナムで小学校の先生をしていたと初めて知ったよ。ベトナムって国の名前は初めて聞いたよ。バイクに犬や鳥や豚がぶら下がっていてびっくりしたよ。 ・マル先生のアメリカの学校は日本とはこんなに違うんだな。夏休みが3か月もあって宿題もないなんてうらやましいな。給食がないのは嫌だけど、リュックで登校できるのはいいな。 <p>☆みなさんは今、ほかの国にどのくらい行ってみたいですか。ジャムボードで自分の気持ち指数を表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国のおいしいような料理を食べてみたいから行ってみたい。 ・行ってみたいけど、まだ少し怖い気持ちもあるから8かな。 ・外国には日本にはないおもしろいものやきれいな場所があると話を聞いてわかったから、とても行ってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材は事前に読ませておく。 ◇教材についての発問はスライドを使ってクイズ形式で内容を簡単に整理することとどめる。 ・写真も黒板に掲示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・活動前に質問することと、日本と同じもの・違うものを見つけてくるという視点を与える。 ・10分間でアメリカとベトナムで自分の行きたいコーナーを自由に選択する。物を触ったり質問したりできるようにする。 ・ワークシートには表情を書き込めるような丸を作り、文を書くことが苦手な児童でも気持ちを表現できるようにする。 <p>◇授業前と同じようにジャムボードで10段階で自分の立場を表し、授業前との変化がわかるようにする。</p>

<p>終末5分</p>	<p>3 本時の振り返りをする。 ○今日の授業で思ったことや楽しかったことは何ですか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>めざす児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いてもっと行ってみたいくなった。 ・アメリカやベトナムのことが知れて楽しかった。 ・もっとほかの国についても知ってみたい。 ・日本にも外国の人や物がたくさんあるとわかった。 </div> <p>4 教師の説話を聞く。 ○先生方の行ってみたい国について、アンケート結果の続きを見ましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生たちも色んな国に行ってみてみたいんだな。 ・自分もアメリカに行って大谷翔平選手の試合を見たいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに戻り、「広い世界のたくさんの人たちのことを知ってどうだったか」を問う。 ・ワークシートに振り返りを書かせる。 <p>◇スライドで行ってみたい国ランキングを表し、担任の行ったことのある国や行ってみたい国について話す。</p>
-------------	--	---

<評価の視点>

- ・ほかの国の人々や文化について、一つの見方ではなく様々な見方で捉え、考えようとしている。
- ・ほかの国の人々や文化に親しむことのよさについて、考えようとしている。

8 板書計画

